基礎分野 看 1-6

| 全 處刀封 | | | |
|---------------------------------|--|--------|--------|
| 科目名: | :海外事情Ⅱ<アジア> | 選 | 2 単位 |
| (Current Issues in Asia) | | | |
| 履修年次/時期:1年次 前期 授業形態:講義、演習、実地研修 | | | |
| 担当教員:国際交流委員会委員長〈角田 晃(実務経験有)〉、委員 | | | |
| 学修目的 | 中華民国(台湾)の歴史と文化を学び、異文化に対する見識を養うこと、英語 I.II.IIIにおいて | て学習した芽 | 英語会話力を |
| | 発展させ、食事、ショッピング、観光など様々な場面でコミュニケーションをとることを学修 | 目的とする。 | , |
| | DP: 2- (1) (3)、CP:1 に関連する。科目 No. Klz-106 | | |
| 到達目標 | 1) 中華民国の概要を知る。 | | |
| | 2) 中華民国の歴史、社会事情、文化について理解する。 | | |
| | 3)中華民国における名所、代表的建築物や施設、芸術作品の歴史や背景について理解する。 | | |
| | 4)英語でコミュニケーションを取ることができる。 | | |
| | 5)海外を安全に旅することを理解し、実践できる。 | | |
| 授業概要 | 中華民国での現地研修を通して社会事情や文化について学ぶ。具体的な研修内容は以下の通 | りである。 | |
| | 1)台北市内を中心に歴史的建造物、文化施設を見学する。 | | |
| | 2) 本学との間に協定があり、かつ訪問実績のある高雄医學大學病院で現地研修(病院見学、 | 高雄医学大学 | 学学生との |
| | 交流)を行う。 | | |
| | 3)参加者自身がテーマを設定のうえ目的地を訪問し、アジアの社会事情や文化を体験する。 | | |
| | | | |
| | 費用は参加人数によって多少異なります。詳細はオリエンテーション時に説明します。 | | |
| 評価方法 | 講義への参加度 (25%)、実地研修 (30%)、事後レポート (45%) | | |
| | レポートに対するフィードバックは必要に応じて適宜行う。 | | |
| 予習• | 【予習】0.8 hr. | | |
| 復習時間 | 【復習】0.8 hr. | | |
| 教科書 | なし。 | | |
| 参考書 | ガイドブック(指定はありません)。図書館に関連書物、雑誌がありますので参考にして下さり | ١. | |
| オフィスアワー | 国際交流委員会委員長が最初の授業で公示。 | | |
| 連絡先 | | | |